

# ◆ 3月定例会の議決結果 ◆

## ■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案件 (13件)	第 2 号 平成31年度小松市国民健康保険事業特別会計予算	可決
	第 3 号 平成31年度小松市介護保険事業特別会計予算	//
	第 4 号 平成31年度小松市公債管理特別会計予算	//
	第 5 号 平成31年度小松市産業団地事業特別会計予算	//
	第 6 号 平成31年度小松市後期高齢者医療特別会計予算	//
	第 7 号 平成31年度小松市水道事業会計予算	//
	第 8 号 平成31年度小松市下水道事業会計予算	//
	第 9 号 平成31年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算	//
	第10号 平成30年度小松市一般会計補正予算(第5号)	//
	第11号 平成30年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
	第12号 平成30年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	//
	第13号 平成30年度小松市公債管理特別会計補正予算(第3号)	//
	第14号 平成30年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第1号)	//
	条例案件 (20件)	第15号 小松市伝統的建造物群保存地区保存条例について
第16号 小松市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例の一部を改正する条例について		//
第17号 小松市文化財保護条例の一部を改正する条例について		//
第18号 こまつ曳山交流館条例の一部を改正する条例について		//
第19号 ジャパン九谷のふるさと松雲堂条例の一部を改正する条例について		//
第20号 ひとつものづくり科学館条例の一部を改正する条例について		//
第22号 小松市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について		//
第23号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について		//
第24号 小松市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について		//
第25号 小松市森林環境保全基金条例について		//
第26号 小松市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		//
第27号 小松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について		//
第28号 小松市高齢者生産活動センター設置条例を廃止する条例について		//
第29号 小松市営住宅条例の一部を改正する条例について		//
第30号 小松市建築基準条例の一部を改正する条例について		//
第31号 小松市火災予防条例の一部を改正する条例について		//
第32号 小松市スポーツ賞条例の一部を改正する条例について		//
第33号 小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		//
第34号 小松市国民健康保険条例及び小松市国民健康保険事業基金条例の一部を改正する条例について		//
第35号 小松市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について		//
市長提出追加議案(2件)		第36号 公平委員会委員の選任について
	第37号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	//
議員提出議案(1件)	第 2 号 加齢性難聴者に対する補聴器購入を支援する制度の創設を求める意見書	可決

## ■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

議案名	会派自民				自民党こまつ				無会派				議決結果								
	浅野清利	灰田昌典	北出隆一	表靖二	高野哲郎	吉本慎太郎	梅田利和	新田寛之	南藤陽一	宮西健吉	川崎順次	二木攻		吉村範明	井田秀喜	杉林憲治	橋本米子	出戸清克	片山瞬次郎	浅村起嘉	木下裕介
予算案(1件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
条例案(1件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
請願(2件)	第1号 国に対し「消費税率引き上げの中止を求める意見書」の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	不採択
	第2号 国に国保への国庫負担増を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	不採択
※請願第1号、第2号は、委員長報告のとおり不採択とすることに賛成する議員の起立を求めました。																					
議員提出議案(2件)	第1号 文喜相韓国国会議長の天皇陛下に関する発言に抗議する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	退	○	可決
	第3号 小松空港の二本目滑走路の建設についての意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	可決

※宮川吉男議長、出戸清克副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。※宮川吉男議長は採決には加わりません。

代表質問 会派自民 浅野 清利(あさのきよとし) 議員

一括質問

## 平成31年度当初予算案について

**Q** 増額計上された市税収入、特に法人市民税予算計上額の確保の見通しは。現在の景況や企業業績等の判断を含めて尋ねる。

**A** 経済は回復している。法人市民税は順調に上昇しており、今年度も若干上乘せできる見込みである。

**Q** 市債残高は10年間で目標を超える圧縮見込みであり、その効果も現れてきているが、「NEXT10年ビジョン」における高い目標の達成見通しは。

**A** 臨時財政対策債も借金と捉え、さらなる予算運営に努めたい。

**Q** 予算編成に当たり、特に重視した点や重点政策は。

**A** 持続可能な開発目標(SDGs)の考えを予算に入れた。重点は、新幹線開業に向けた取り組みと人づくりと考える。

### ◆安心・安全なまちづくり

**Q** 児童、高齢者の虐待防止について、市の実態、学校での対策は。

**A** 早期発見やフォロー体制が大事であり、市民団体、福祉団体、行政施設を活用し対応している。

**Q** 高齢者の詐欺、悪徳商法の被害対策は。

**A** あんしん相談センターに消費者相談の専門員を配置している。

**Q** 避難行動要支援者の災害への備えとして、避難行動要支援者名簿の活用や避難者の課題は。また地域の「絆」「福祉力」の向上策は。

**A** 名簿を基に避難支援が必要な方を把握し、災害時の避難支援に繋がるようお願いしている。やさしい避難所を目指し、常備品等を強化した。また災害時には地域で助け合う協力体制が重要であり、市として地域活動を総合的に支援していく。

### ◆農業関係について

**Q** 次世代の担い手、後継者の育成支援について。

**A** ICTの活用により若い世代が農業参入しやすい環境を作った。

**Q** 小規模な農家でも経営可能な仕組みと支援は。

**A** 大量生産が困難で珍しい作物の栽培など、農業者の工夫で売上増加の可能性がある。新商品の開発などの支援を行っている。

**Q** 農業における雇用状況について。

**A** 市内における農業への臨時雇用人数は、平成17年は652人で、27年には1200人となった。

### ◆総合美術館建設について

**Q** 小松市がレベルの高い文化都市を目指すのであれば、国宝、重文を展示できる一級美術館を。

**A** 市所有の重要文化財4件が、博物館などで展示、活用されている。今後は、新たな文化財の掘り起こしなど、文化の向上に努めていく。

### ◆小松空港の第2滑走路について

**Q** 国際線の利用が好調であり、国が2030年に6千万人の訪日外国人誘客構想を実現するためにも、地方空港が重要視されるので、早く第2滑走路のビジョン作りを。

**A** 小松空港の将来像については、県の意思と国の事業化が重要である。これからも空港の発展に向けて協力していく。

**Q** 北陸エアターミナルビルの建て替えについて。

**A** 主体の北陸エアターミナルビル株式会社や県の意思が重要であり、できる限り協力していきたい。



小松空港の現在の滑走路



## 平成31年度当初予算案について

**Q** 一般会計の歳入市税について、類似都市の白山市との格差の要因はどこにあるのか。市税収入が過去最高にならない要因は。

**A** 今年度はリーマンショック後では過去最高の市税収入である。

### ◆自主財源について

**Q** 自主財源の比率を50%の目標値に設定を。市長の見解は。

**A** 自主財源比率も大事。100%自由裁量の一般財源比率も重要である。

### ◆市債依存度について

**Q** 一般会計の市債依存度は地方財政計画の10・6%を下回る10%以下にすべきでは。市長の見解は。

**A** 近年はクリーンセンターの建設があり市債依存度が増えた。

### ◆地域協議会の設立に向けて

**Q** 財政支援、活動支援、運営支援について説明を。

**A** 今年度59制度、6億1500万円の予算計上。金沢大学、公立小松大学とも協力。活動を運用するコミュニケーションリーダー育成も支援。

### ◆松東みどり学園の指針について

**Q** 目指す学校像とは。小中連携、一貫教育の学校運営、特色ある教育活動について、教

### 育長の見解は。

**A** 個々の子供たちにそれぞれの学びを通して、今後求められる力を育成していく学校を目指す。地域、保護者、学校で「新しい学校づくり推進委員会」を組織し、教育効果の向上を目的に課題について検討、小中一貫教育により中一ギャップ、不登校、いじめなどの負の課題を解決できる。

### ◆こまつ五彩ブランド推進費について

**Q** セラボクタンが担う役割は。事業主体は九谷焼窯元工業協同組合であるが、管理運営体制と利用料、交通アクセスは。

**A** 九谷焼の陶石から粘土生成の技術を継承し、人材育成をするとともに、陶石から絵付けまで九谷焼の全てを体感、体験できる施設である。世界的建築家設計の建築物として世界から注目され、SNSでの発信も期待。運営は九谷焼窯元工業協同組合が主体となり運営委員会を組織、地域おこし協力隊2名が小松九谷の全国発信を担う。利用料は、運営委員会で検討し、オープンまでに決定する。主要幹線道路からのアクセスも良好な立地。今後、市外からの来訪者の利便性向上のため案内看板の設置等を行う。

### ◆幼児教育、保育の無償化と子育て環境の充実について



**Q** 幼児教育、保育の無償化について本市の施策は。

**A** 国の制度改正の10月から引き続き第3子以降の児童の保育料、副食費を無料とする方向で検討する。

### ◆本市の児童センターについて

**Q** 丸の内配水場更新工事により生じた1390㎡の残地に中央児童センターの移設新築を。市長の見解は。

**A** 併設する稚松公民館とともに地域活動の拠点として引き続き利用していく。

### ◆小松市シルバー人材センターについて

**Q** 公益社団法人とは。なぜ旧中海保育所に移転するのか。理事会の承認は。

**A** シルバー人材センターは県知事の指定を受けた公益法人であり、「公益目的事業を行うことを主としている」などの公益認定基準を満たしたものである。現在の施設は新耐震基準を満たさず、建物の老朽化が著しい。移転先として市の既存施設を中心に検討した結果、旧中海保育所の施設を改修して活用する方針となった。理事会では施設改修内容を含め審議しているところであり会員にとって、より利用しやすいものとなるよう事業を進める。



南藤 陽一（なんとう よういち）議員

一括質問

## 北陸新幹線小松開業の効果を最大限に引き出す活性化策

### ◆小松空港周辺のまちづくりについて

**Q** 全国的に見ても小松駅と小松空港の近い利点を生かし、その相乗効果を得るためには、空港周辺のまちづくりが重要な要素である。今後、整備される安宅新地区土地区画整理事業の活用方法は。

**A** 空港周辺の土地の利活用については、これから本格的に考えていくが、市民が幸せで豊かになるよう高度利用をしていきたい。

**Q** 東京オリンピック・パラリンピック後のスポーツ振興策について

### ◆東京オリンピック・パラリンピック後のスポーツ振興策について

**Q** 東京オリンピック・パラリンピックの効果を全国に波及させる、国のホストタウン事業の経験を、今後、本市のスポーツ振興にどのように生かしていくのか。

**A** オリパラ教育で豊かな国際感覚を磨き、将来に向けた夢や



NEXT10年ビジョンによる未来の空港イメージ

目標に近づいたり、開催後も合宿誘致やスポーツ交換留学などを積極的に行い交流人口拡大につなげたい。

### ◆産業観光について

**Q** 今後、本市が能美市と連携して取り組む、産業観光の目指す形はどのようなものか。

**A** 小松・能美鉄道利用連携会議において、市域を超えて北陸新幹線小松開業に向けた効果的なプロモーションや誘客につながる事業展開を行っている。また、両市共通の伝統産業の九谷焼を題材に広域での産業観光コースの造成により、魅力的なコンテンツにしたい。

**Q** 産業観光は、「学び・教育」を目的に誘客を行うものだが、今後、造成を目指す産業観光を、修学旅行の誘致につなげてはどうか。

**A** 修学旅行など市内コンベンション開催の助成制度の利点を商談会などでPRし誘致活動を行うとともに、産業観光は、子ども達の科挙やものづくりへの関心を高め、人づくりにつながるよい機会となることから、企業と協力しながら推進していきたい。



新田 寛之（にった ひろゆき）議員

一括質問

## NEW臨空ゾーンの活用について

### ◆安宅新地区土地区画整理事業について

**Q** 今後のスケジュールについて。

**A** 地権者の皆様方との手続が済んだら市街化編入手続や建物補償調査、道路設計、事業認可図書作成などの作業に入る。

**Q** 小松空港ICの整備を進めるべきである。

**A** 空港周辺全体の活用はこれから検討を進める。

### ◆安宅公園リニューアル整備費について

**Q** どのような公園を目指すか。

**A** 海と空と緑が織りなす空間で、観光と折りをテーマにインパクトにも対応した公園を整備。地域との共創により季節感あふれる花木や草花で彩る花みちづくりや健康遊具など憩いや安らぎ、地域の健康づくりの拠点となるよう整備する。

### ◆白砂青松再生費について

**Q** 事業の趣旨は。

**A** 安宅地区海岸は日本の白砂青松100選に選定され、梯川河口からの霊峰白山の眺望景観は小

松市を代表する景観資源であり、将来に継承すべき貴重な財産である。近年の冬期風浪により自然護岸の侵食が確認されており、植樹地整備として防風柵、竹垣の設置を行う。

### ◆市宮木曾町住宅について

**Q** 今後の計画は地元の要望等をよく聞いて進めるべき。

**A** こども園、小中学校など子育て関連施設があり、余剰地活用事業を行うことで若者世帯、子育て世帯の移住による地域コミュニティの活性化、また商業施設の誘致で地域住民の利便性の向上を図り、安心・安全で生き生きと暮らせるまちづくりを目指したい。

### ◆結婚支援について

**Q** 活動状況や実績はどうか。

**A** 出会いのきっかけづくりを目的に助成する、しあわせ応援助成金を活用したイベントは平成27年度から45回開催、参加者数1512名、うち217組のカップルが成立した。イベント開催や結婚相談に加えて、積極的に結婚に向けて取り組めるよう、身だしなみやコミュニケーション力向上講座などを開催している。